

3 市民ワークショップ結果

(1) 市民ワークショップの目的

酒田駅前に新しく整備する予定の複合公共施設「酒田コミュニケーションポート（仮称）」を、市民だれもが使いやすく、市外から酒田を訪れる人たちにとって魅力あふれる場とするには、何が必要かを市民同士で考え、基本計画に活かすアイデアをまとめることを目的とする。

(2) 実施概要

次の要領で実施した（全3回）。

回	テーマ	日時	場所	参加者数
1	新しい施設に必要な機能、欲しい機能を考えよう	平成28年9月22日（木） 9時半～12時半	交流ひろば1階	30
2	酒田らしさを施設に活かそう	平成28年10月2日（日） 9時半～12時半	同上	24
3	新しい施設の使い方を考えよう	平成28年10月22日（土） 13時～16時	同上	19

(3) 各回のまとめ

各回の進行内容及び主なアイデア・意見等は、次のとおりである。

① 第1回

ア テーマ 「新しい施設に必要な機能、欲しい機能を考えよう」

イ 進行内容

- ・ワークショップに入る前に、「最新の公共施設整備事例について」のミニレクチャーを行い、新しい施設のイメージ形成を図る。
- ・ワークショップでは、「新しい施設に必要と思う機能、欲しいと思う機能」について、「ライブラリーセンター」「観光情報センター」「カフェ」「広場・駐車場・バスベイ」の4つのカテゴリごとにアイデアを書き出し、ディスカッションを行う。
- ・時間の関係上、発表は7グループ中2グループにとどめ、後は各グループの成果品を全員で見て回る形とした。

ウ 成果物

- ・グループ（A班～G班まで、7グループ）で出された主なアイデアは、次のとおりである。

●ライブラリーセンターについて

【施設】

- ・ホワイトボード付（備付）の自由に使える会議室、打合せスペース
- ・学校図書館支援ルーム
- ・ちょっとした買い物ができる機能（場所）を併設（ついでに寄れる）
- ・固定イスでなく自由に配置を変えられる多目的ホール（講座、講演会、上映会）
- ・高齢者と身体の不自由な人に親切な作り（バリアフリー、多目的トイレ、オストメイト対応トイレ）
- ・学習室（パソコン持ち込み可）
- ・映画館（多目的に使える）
- ・スーパー
- ・棚の高さを低くしてほしい
- ・腰が痛くならないようなイスの設置

【空間・動線】

- ・天気の良い日は外で本が読めるスペース
- ・樹のある森的な空間のライブラリー
- ・友人と一緒に話せるスペース

【児童図書室関係】

- ・赤ちゃんコーナー（フロア）の設置（遊具の設置やキャラクター絵本などの棚の配置）
- ・子ども広場と児童図書のスペースを一緒にする
- ・児童書のスペースは騒がしくても大丈夫な構造、間取り

【貸出関係】

- ・宅配での本の貸出し、返却サービス
- ・ほかの図書館の本も借りられるシステム
- ・ドライブスルー返却機能

【蔵書関係】

- ・地元の郷土歴史の（庄内近郊）コーナーを作り、勉強できる機会があるといい
- ・ビジネス支援コーナー（就業や起業に役立つ情報と書籍）

【サービス関係】

- ・Wi-Fi 機能
- ・コンシェルジュの設置
- ・大人も利用しやすい（仕事終わりに）時間帯の開館
- ・24h 読み放題
- ・気に入った本を購入できる機能
- ・夏休みなど、小中学生の宿題や自由研究のサポートをしてくれるボランティア（元先生等）
- ・地下施設で音楽が流れる中で本を読める（クラシック）
- ・パソコンやタブレットを自由に使えるコーナー（電源、コンセントも）
- ・飲み物の持ちこみOKのブース
- ・実験コーナー（理科等）、体験コーナー（折り紙等）の企画

●観光情報センターについて

【案内・情報関係】

- ・QRコードで説明やマップが出るようなガイド
- ・居酒屋、夜のお店情報、観光情報誌にない観光情報の提供
- ・観光ガイド機能（ガイドの養成？）
- ・天気、病院等の場所が分かる
- ・旧酒田市だけでなく、遊佐、八幡、平田、松山、友好都市等の紹介
- ・行きたい所への所要時間、利用できる交通手段、料金などがすぐわかる
- ・地域の活動（ボランティア情報）わかる、つながることのできる場
- ・ホームページを外国人にも分かるようにつくる

【空間・動線関係】

- ・郷土芸能、文化、歴史がわかる展示施設
- ・お土産品（食品）を販売しているスペース
- ・入浴施設、サウナ

【サービス関係】

- ・Wi-Fi
- ・医療、税金に関することを教えてくれる窓口を駅降りて、すぐに使えると年寄りに優しい
- ・地元のいろいろな会社の日本酒が試飲でき、そこで買える
- ・気楽に集い飲み食いが出来る場所
- ・医療施設か老人ホームなどの紹介や相談
- ・酒田の伝統工芸品展示、紹介
- ・地元大学生のツアー実施や駐在ガイド、おもてなし隊などとの連携
- ・地元食材、郷土料理の実演販売
- ・酒田の人のあたたかさが伝わるようなものを目で伝える。方言で他県などから人をむかえる
- ・若者が来て楽しめる施設
- ・高齢者が多いので、常にロコモ運動が出来る（指導者付き）

●カフェについて

【施設】

- ・芝のある場
- ・トイレに配慮する
- ・コワーキングスペース
- ・レンタルできるブースやスペース（プロジェクターとかホワイトボード）（展示できたり、演奏会、パーティー、読書会のできるルーム）

【空間・動線】

- ・若者が集まる、かわいい、きれいと思えるような商品や建物のデザイン
- ・「ゆったりいられる場」と「ちょっと利用」が両方できるデザイン

- ・くつろいでゆっくりできる空間
- ・昼と夜の営業で違った雰囲気を出してほしい
- ・乳児連れのお母さんでも安心して過ごせるスペース（段差低いスペース）
- ・ペットを連れて入れるエリアがあったらいいな

【メニュー】

- ・地産、地消のメニュー
- ・カフェとは別に酒田ラーメンが食べられるスペース（観光用としても）

【サービス】

- ・Wi-Fi 機能
- ・平日の仕事後も使える営業時間
- ・買ったお土産を食べたい。弁当持込み可にしてもらいたい。飲料も
- ・アルコールの提供
- ・民間の企業が物販できる（期間出張型）
- ・地元の飲食店とのコラボイベント開催
- ・酒田の名産品、地元の土産品などを置く
- ・ゆっくり本が読めるよう（長居できるよう）に2本目のドリンクが安いと嬉しい
- ・携帯やノートパソコンが充電できる
- ・岸洋子のシャンソンを流す

●広場・駐車場・バスベイについて

【広場】

- ・Wi-Fi 機能
- ・公園のように子供が外で遊べる（すべり台、シーソーとかの遊具）
- ・野外ライブできる
- ・足湯ができる
- ・子供を遊ばせながら親がゆっくりできる
- ・休憩スペース（少し横になれるような）
- ・バーベキューができる
- ・トイレについて、男子トイレ、女子トイレ、多目的トイレ（それぞれに、おむつ替えシート、キッズチェア設置）
- ・季節の花が咲いている
- ・芝のある、寝転がって遊べる
- ・スポーツができる

【駐車場】

- ・分譲マンションから雨に濡れないで施設に行ける（地下で繋がっている）、融雪設備
- ・駐車場の場所がすぐわかるようにマークの表示
- ・無料で幅の広い止めやすい駐車場
- ・マンション駐車場と外部から駐車する場所と分けてほしい（1,2F と 3,4F とか）

【バスベイ】

- ・その場でバスのチケットが買える（庄交バスターミナルのような）高速バス
- ・バス乗り場が誰にでもわかりやすい表示で、高齢者や障がい者が使いやすい乗り場
- ・電車、バスの出発前（5分）の全館内放送

② 第2回

ア テーマ 「酒田らしさを施設に活かそう」

イ 進行内容

- ・1回目の内容の振り返りを行う。
- ・「地域資源を活用した図書館サービス」の事例紹介を行い、酒田らしさを施設に活かすイメージ形成を図る。
- ・ワークショップでは、「酒田のアピールポイント」について、「食」「自然」「歴史・伝統」「観光スポット」「その他なんでも」の5つのカテゴリごとにアイデアを書き出し、アピールポイントを施設に活かす方向性として、「情報発信」「イベント」「デザイン」という3つのテーマでまとめを行う。
- ・6グループ全ての発表を行った（班編成は出席者数の関係上、1回目とは異なる）。

ウ 成果物

- ・グループ（A班～F班まで、6グループ）ごとに出されたアイデアは、次のとおりである。

【A班】まとめのテーマ：イベント

実施場所	イベント内容
観光情報センター	・庄内の四季の映像を流し、山居倉庫、北前文化について知るイベント！
広場	・酒田の特産フェア（広場で屋台を出してみんなで食べる。祭のように楽しく♪ 民俗芸能のステージも！）
ライブラリーセンター	・酒田市立図書館の前身である光丘文庫を記念して、光丘文庫のできた日を酒田市立図書館の記念日としてイベントを開催する。 ・本間家や光丘の歴史的発進、地域文化人の紹介、地域文化のデジタル化による紹介 ・酒田に関することを知る日としてイベントを作る「酒田の歴史を知る日」

【B班】まとめのテーマ：イベント

イベント内容
自然体験型イベント（子どもたちの学びと結びつける）
出張観光（施設に出張してきてもらう）
外国人向けイベント
北前船イベント
参加型花火
ラーメンフェスタなど
芋煮会など
お酒・おつまみ

【C班】まとめのテーマ：情報発信

アピールポイント のカテゴリ	情報発信に使える酒田のアピールポイント
自然	鳥海山、ジオパーク、飛島、海も山も楽しめる、冬の日本海、最上川（豊富な水資源）、鳥海山をバックにした四季の稲田
食（めし）	庄内メロン・柿・梨・赤ネギ、漬物（茄子）、ダダチャ豆、酒田のラーメン、孟宗竹、トビウオ（ラーメン）、芋煮会、庄内米、グルメ、日本酒（元 JAL 国際線指定酒）、魚介類（寒鰯汁、カキ、スルメ、ハタハタ）、すし、オランダ煎餅
観光・歴史・伝統	<p><日和山> 日和山公園（北前船、最古の灯台、石碑、文学の散歩道）、即身仏、台町周辺（小路）</p> <p><スポット> 寺町（京都を思わせる）、「おくりびと」ロケ地、本間様・相馬楼、山居倉庫、土門拳記念館、飛島</p> <p><旧町> 飛島神社（仁王堂）、平田の十二の滝、松山城址、八幡の玉すだれの滝</p> <p><歴史> 北前船（山居倉庫）、江戸時代から続く鶴岡・酒田の関係（京・大阪のような）、国府所在地（平安時代）</p> <p><人> 岸洋子、北の富士、大川周明、吉野弘、石原莞爾、松尾芭蕉、西郷隆盛</p> <p>まちあるき・ぶら探酒田、黒森歌舞伎・松山能・酒田祭り、ししおどり</p>
その他	なんといっても酒田弁（とくにお年寄りの）、ゆかしさ、相手に協力する・協調する気がある、公益の心（人のためにがんばれる）、親切な人柄、人なつこい人柄

これらアピールポイントを、ユーチューブなど使って、こちらから発信していったらいいのではないか、というまとめがあった。

【D班】まとめのテーマ：デザイン

<ul style="list-style-type: none"> ・ライブラリー、情報センター、カフェ、広場、全体を「酒田らしさ」をテーマにし、それぞれ独立させるのではなく、有機性を持たせて酒田の玄関口としての機能を持たせる。（＝施設デザインのコンセプト） ・カフェ、情報センターの壁面も最大限にいかし、インパクトをもたせる。（市民も意外に知らない） ・ライブラリーセンターに酒田を知るコーナーを設置する。（企画展をする） ・つながり（統一性） → すべての施設を通して日常的に酒田をイメージできる。（歴史、文化、自然、食....） ・酒田を知るコーナーin LC（ライブラリーセンター） → 文化、商業、自然で分ける 観光センター⇔ライブラリーセンターの双方向性

<ul style="list-style-type: none"> ・観光客向けに（時間がない）ライブラリーセンターに行かなくても、観光センターでも事足りる工夫。 ・タッチパネルで映像に流れる ・観光センター → さっと楽しめる → 興味を持ったなら ・ライブラリーセンター → じっくり調べる
--

【E班】まとめのテーマ：情報発信

情報発信の場所	情報発信手法・内容
施設全体	・映像で食を発信（五感で感じる）、サイネージ、プロジェクションで季節ごとの情報、建物屋上展望デッキを設ける（視覚利用しての情報発信）。SNSで発信
ライブラリーセンター	・酒田市の観光図書コーナーの設置、関連図書コーナーの設置
観光情報センター	・酒田見所カレンダーの掲示、アウトドアレジャー窓口への誘導、タブレット端末
広場	・祭りの際の拠点機能が担える場所に、イベントの開催（ラーメン、酒）
駐車場・バスベイ	・駐車券にQRコード（市のHPやガイドなどにアクセスできる、有料広告で収入も？）、利用回数に応じてサービス提供（無料食事券など）、サイネージで乗換案内

【F班】まとめのテーマ：デザイン

デザインのテーマ	デザインの内容
外観はどんな感じ？	<ul style="list-style-type: none"> ・例えば、屋根が波形だったりする = 山居倉庫の屋根に見えたり、波に見えたり、山並みに見えたり、光の動き＝ライトアップする ・モニュメント：北前船をモチーフに（器にみたて）酒田の名産・名物をのせる（イメージはカゴいっぱいのかだものみたい）
モニュメント	・北前船をモチーフに（器にみたて）酒田の名産・名物をのせる（イメージはカゴいっぱいのかだものみたい）
内装はこんな感じ？	・例えば、スペースの一部に木の感触を味わえるようなもの、かわら、材料を使って、東屋みたいなものを作る

③ 第3回

ア テーマ 「新しい施設の使い方を考えよう」

イ 進行内容

- ・2回目の内容の振り返りを行う。
- ・様々な市民に使ってもらうための事例紹介を「学び（医療情報など）」「子育て支援」「市民交流」「情報発信」の4つの視点から行い、新しい施設に市民が使うイメージ形成を図る。
- ・ワークショップでは、①必要と思う場所・機能②なぜ必要なのかの理由③必要と思う場所や機能の具体的な使い方、を個々に書き出し、それらアイデアを「学びの場」「子育ての場」「情報発信の場」「交流の場」「その他」というテーマでグルーピングし、さらに具体的な場をイメージしながらまとめを行う。
- ・5グループ全ての発表を行った（班編成は出席者数の関係上、1回目・2回目とは、異なる）。
- ・グループ発表後、「あなたが将来コミュニケーションポートで過ごすある一日」というストーリーを個々に考え、A4用紙1枚にまとめた。

ウ 成果物

- ・グループ（A班～E班まで、5グループ）で出されたアイデアは、次のとおりである。

テーマと主なアイデア

●学びの場について

- ・酒田の歴史について深く知る
- ・光丘文庫の残っている本の閲覧とアーカイブ（本の説明、DVDの録画のアーカイブ）のできる場
- ・目的別に対応してくれる学びの場
- ・中高生を応援する学びの場
- ・地域を知れる学びの場
- ・「ひとり」と「みんな」自在に使える場
- ・酒田を知り、好きになる学びの場
- ・学生が時間を有効利用できる学びの場
- ・酒田の良さを学べる場
- ・生活の利便性の向上を学べる場

●子育ての場について

- ・児童＋ジュニアコーナー（おしゃべり、泣いても気にしないで利用できる場）
- ・親子連れが気軽に立ち寄れる場
- ・「公園デビュー」に代わる「〇〇デビュー」の場
- ・子どもも大人も楽しめる
- ・小さい子が安心して遊べる場
- ・子育て情報を共有し相談できる場

●情報発信の場について

- ・情報発信できる掲示板（サイネージ）
- ・人を集めたい、発信したい人のための部類分けしをして、明確な発信ができる場
- ・酒田らしさを発信する場（市民にも！観光客にも！）
- ・観光センターとの連動
- ・参加型情報発信
- ・インパクトのある観光情報センター（ハード）
- ・積極的な情報発信（ソフト） →検索でなく、拡散で伝える
- ・地元と来訪者の口コミが行き交う場
- ・若者が集う場の提供

●交流の場について

- ・おしゃべり、会議室、発表スペース（区切って使えるスペース）。有料で会議室、学習室（個室）の場
- ・軽食の持ち込みも自由に摂ることのできる場
- ・読書だけに限らず多目的に使用できる場
- ・おしゃべりルームの設置
- ・みんながくつろげる（観光客も市民も）
- ・おいしくて、おしゃれで、おちつけるカフェ
- ・集客イベントのできる場+駅前の「交流」の拠点
- ・日常的に集える場
- ・定例のイベント開催

●その他

- ・多様なニーズに応える場（サイレントルーム、オープンな学習スペース）
- ・返却ポスト（ドライブスルー、駅返却ポスト etc.）
- ・観光みやげを買える所（簡単な情報の発信）
- ・「いつ」でも「誰」でも使いやすい（例えば、夜間返却、荷物預かりサービス）
- ・「買える」サービス
 - ・夜遅くまで利用できる
- ・多機能で使える
 - ・各施設、機能の融合